

5.15 沖縄平和行進参加報告書

東北地方ひたち支部 長山 勝哉

今回、沖縄平和行進初参加ということもあり、少し不安がありましたが、初日の三単産団結式で各地方の人が集まった時に、平和行進への実感がすごく湧いてきて気持ちが少し楽になりました。

その後の平和学習会では講師の古謝厚雄さんの実際に体験された話を聞いて戦時下の沖縄の現状をより詳しく知る事ができました。

視察でひめゆり資料館に行った時は実際にガマを見たり、資料館の中では当時の戦争を体験した方の映像が流れていました。

その中でも特に衝撃を受けた言葉がありました。「私は大切な友達を見捨てて逃げて自分だけ生きてしまった。あの時なんで一緒に死ねなかったんだろう。生きてる事が恥ずかしい。」今の時代では考えられない言葉だと思いました。この言葉を聞いて、本当に戦争は二度と起きてはいけない事だと改めて気付かされました。

平和行進当日は宜野湾市役所前から、沖縄市八重島公園までの約9キロを歩きました。最初は少し緊張していましたが、シュプレヒコールをあげた時にその緊張は無くなりました。自分達の知らない所でこんなに沢山の人が苦しい思いをして闘っていると思うと、自分にできる事を精一杯やり切ろうという強い気持ちに変わり、無事最後まで行進をする事ができました。

私は今回の出張でみんなが1つの目標に向かって頑張るという事は本当に素晴らしい事だと思いました。例え結果はどうであろうと、続ける事が何より大切な事だと思いました。他の地方で起こっている問題は自分達の問題であると強く思いました。私は今回の沖縄平和行進で学んだ事を糧として、これからも自分にできる事を精一杯していきたいです。